

■発行／桜井しげる後援会 ■住所／315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28 ■電話／自宅：0299-22-3881
 ■FAX：0299-22-3881 ■携帯：080-3150-8451 ■E-Mail sakurai@sakurai.click
 ■WEB <https://sakurai.click/index.html> ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

輝く未来を子どもたちへ

石岡市議会議員

櫻井 茂

SAKURA I

SHIGERU



石岡市最大の懸案事項である複合文化施設整備事業（概算事業費73億円超）が風雲急を告げています。複合文化施設の計画がゼロベースに戻り、再スタートから2年が経過した10月末、市長に提出された審議会最終答申は、建設地を鹿島鉄道跡地としています。これに先立つ9月定例議会では、駅東地区建設反対の議決をしています。地方自治法では、予算及び契約に関し、議会の議決が必要であると規定しています。特別委員会で市長は「複合文化施設は議会の理解が無ければできない。その上で、計画を進めるため審議会の意見を尊重する」と、矛盾する発言をしており、今期定例会では、熱い議論が想定されるところです。今年も残りわずか。感染症予防策を万全に、新たな年を元気にお迎えください。令和7年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

一 決算特別委員会

(1) 令和5年度決算を審査

令和5年度執行の一般会計決算及び特別会計決算を審査する決算特別委員会（櫻井茂委員長）を10月21日から24日の4日間にわたり開催しました。

(2) 財政の硬直化が進行

決算に対する監査委員の意見は、昨年同様に財政の硬直化が進んでいる点を指摘。特に市税以外の未収金（市営住宅、国保税、給食費、霊園管理料等）の収納対策として法的措置の実施等を求めています。

経常収支比率は、数値が高いほど財政の硬直化が進んでいる事を示しており、3年連続で悪化しています。

(3) 決算は可決すべきものに

常任委員会所管の審査3日間では延べ21名が、市長が出席する総括審査1日では7名の議員が一人20分の持ち時間で質疑を行いました。

決算書及び事務事業評価シート等の決算資料に基づき、支出内容や決算を受けての今後の取り組み方針等を確認。4日間の審査を終え、全会計議案を「原案可決すべきもの」と決しました。12月定例会開会日に委員長報告を行い、可決する予定です。

項目	年度	R02 R03 R04 R05				比較	区分	一般会計 特別会計		合計(円)
		R02	R03	R04	R05			一般会計	特別会計	
財政力指数		0.62	0.60	0.59	0.58	△0.01	歳入決算額	40,116,065,319	16,088,302,222	56,204,367,541
実質収支比率		5.8	7.3	13.2	9.5	△3.70	歳出決算額	38,026,647,841	15,870,602,040	53,897,249,881
経常収支比率		91.9	84.5	91.9	93.3	1.40	差引残額	2,089,417,478	217,700,182	2,307,117,660
実質公債費比率		7.8	7.1	6.7	6.5	△0.20	翌年度繰越	313,793,740	0	313,793,740
							実質収支額	1,775,623,738	217,700,182	1,993,323,920

二 9月定例会における一般質問

市は、イベント広場に「図書館」と「ふるさと歴史館」おまつり展示スペース」からなる**複合施設**を建設し、併せて民間企業の進出に向けて調査すると発表しています。内容を伺います。



(1) イベント広場の活用について

① イベント広場活用の方角性について

理事 担当所管と役割、複合施設と民間企業でイベント広場を活用する理由、施設構成はどのような検討をしたのか。

市長 市長直轄組織が中心となるが、複合施設は教育委員会、サウンディング調査は産業戦略部が担当。民間併設は借地料等が期待でき、施設構成は市長の指示による。

市長 議会の意見は、市民ホールはイベント広場へ建設である。市長の政策決定に議会の意見は影響を与えないのか伺う。

市長 市長選挙で、早く市民会館が欲しいとの声があり、**駅東地区で進める**。

市長 市民は、場所についてはどちらでもいい、早く作ってほしい。と言っている。市長の答弁は、議会の意見を無視しているように聞こえる。またゼロベースに戻ってしまいかねないので、しっかり検討してほしい。

② 公共施設と民間企業共存の考え方について

市長 同じ敷地内に公共施設と民間施設が併設となれば、配置や駐車場の共同利用等の工夫が必要となるが考えを伺う。

理事 土地利用一つとっても多くの調整すべき事項がある。サウンディング型市場調査の結果を受けて検討を進める。

③ 事業を進める際の優先順位について

市長 限られた予算と面積。複合施設設置と民間企業の進出という構想だが、公共用地に建設する以上、公共施設を優先して面積・配置を考えるべきと思うが、優先順位をどのように考えているのか伺う。

理事 公共施設の機能を最優先に進めたい。予算の確保も重要であり、合併特例債と国からの交付金の活用を見込み、これらの事業完了が令和12年度期限となっている。

④ サウンディング型市場調査について

市長 イベント広場の活用に向けて、民間事業者から聞き取りを行うサウンディング型市場調査の進め方を伺う。

理事 民間事業者に見解、提案を求め、対話を通じて市場性等を把握し、事業詳細決定の参考とする。10月上旬に対話を**実施し、結果概要は10月中旬に発表したい**。

10月中旬、結果概要を確認したところ、民間事業者3社から「市民ホールの建設地が決定していない中で、事業提案は、議会と市民から誤解を招く恐れがある。」として事業詳細を決定できていないとの事。ここでも、計画案の見込みの甘さが出ています。

(2) 複合施設の整備について

市長 複合施設では「歴史の里いしおか」「関東三大祭り」をどのように反映するのか伺います。

① 担当所管と役割・財源について

市長 担当とその役割、整備財源、整備スケジュール等について、現段階での内容を伺います。

部長 教育委員会事務局が担当。概算事業費は27億円。交付金と合併特例債等を活用し、計画期間は令和8年から12年度。

② ふるさと歴史館について

市長 先進地等の調査状況、整備方針、展示に関する工夫等。歴史の里いしおかをどのように反映させるのか伺う。

部長 下野市と東海村を調査した。整備方針は中心市街地の活性化を基本に精査したい。市内には貴重な文化財があり、旧石器時代から近代までの総合的な展示とする。

市長 最近のVRや子供たちの関心を呼ぶ様々な展示方法を駆使し「歴史の里いしおか」に相応しい施設になるよう指示する。

③ おまつり展示スペースについて

市長 面積は200㎡で提案されていますが、その根拠と、どのような展示・紹介を行うのかお尋ねします。

部長 市内に数多く残る祭礼行事、民俗芸能を特徴的な文化財として展示できるように2部屋分として200㎡を想定した。

市長 教育委員会の考えで、2度3度と見たいと思う方がいますか。関東三大祭りで50万人を超える「石岡のおまつり」を中心市街地活性化に活かそうと思いませんか。大型スクリーンで迫力ある映像を流し、獅子頭に触れる。山車人形を前に飾る等、体験型展示も可能です。歴史散策で市外から来られる方の休憩施設として次は、お祭りに来たいと思っていたとき、商店街に人の流れを作るチャンスと捉える考えについて見解を伺います。

市長 今回、公共施設と民間施設を複合的に整備することにより利便性と集客性の向上に取り組んでいる。議員ご指摘の通り、様々な可能性を秘めたプロジェクトと捉えている。全庁的に協議し検討を進めるよう指示する。

三、各常任委員会報告案件

(1) 人口減少対策

人口減少が進む石岡市における11月1日現在の住民基本台帳人口は7万49人。
ここにきてようやく、市の組織全体で人口創出に向けた取り組みが始まります。移住支援事業を民間企業と連携した移住体験ツアーと移住相談の強化。空き家活用講座の取り組みにより、空き家を活用し売買や賃貸、起業等につなげ、人口を増やす取り組みです。空き家に関心のある方は是非とも注目してください。

(2) イノシシの捕獲状況

猟友会による30日間のイノシシ捕獲活動状況が報告されました。捕獲頭数は昨年より大幅に増加しています。
北海道では、警官立合いでヒグマを駆除した猟友会ハンターが、裁判所により猟銃所持許可を剥奪されました。これに納得できない猟友会は、ヒグマ駆除を拒否する運動を開始しました。
石岡市も対岸の火事ではなく、鳥獣被害防止に協力している方々の権利が守られる法整備が早急に必要だと感じます。

年 度	R6年	R5年	R4年
捕獲数	500	323	409

(3) 光安寺橋の開通

片野地区と根小屋地区の間を流れる恋瀬川に架かる光安寺橋付近は、台風シーズンの豪雨等により恋瀬川が越水し、片野地区への浸水被害が度々発生してきました。

越水防止に向けた橋の架け替えは恋瀬川を管理する県が実施しており、12月上旬に工事を完了。
12月23日に開通式典が実施されます。



四、複合文化施設整備審議会

(1) 複合文化施設整備審議会を組織

令和5年5月、整備計画に市民の声を反映するため、公募等を行い、複合文化施設整備審議会を組織しました。会長には、市長が筑波大学教授を指名し、整備計画案を諮問しました。
議会と審議会の情報が共有されるよう、議員3名も審議会委員に推薦されています。

(2) 審議会会長が建設予定地は駅東と発言

令和5年11月20日の審議会に突然、筑波大学大学院生作成の複合文化施設を含めた駅東地区周辺立体模型が持込まれ、委員に概要の説明をしました。そして会長は、委員の意思を確認することなく「2月までに（中間答申）・時間がありませぬ。建設候補地は鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場ということを進めたい。」と発言。
この発言に加え、市議会選出委員の発言を会長が一方的に制止（その後、委員は会長の議事運営を不満として辞職）した事も議会に伝わり、**審議会の中立性と信頼性が一気に低下しました。**

(3) 審議会での建設地は鹿島鉄道跡地

令和6年2月、審議会は「**建設候補地は駅東地区**」との**中間答申**を市長に提出。そして市長は、この中間答申を尊重すると表明しました。
審議会では、液状化問題、鉄道からの振動と騒音問題等も協議されましたが、執行部が調査した他自治体での対応例を参考にすることで議論が進み、最終答申を取りまとめたようです。
10月28日、審議会は「**建設地は鹿島鉄道跡地**」「**座席数6百〜8百程度**」とする整備案を

最終答申として市長に提出しました。
議会とは意見を異にする内容であり、市長は難しい舵取りを求められる事になります。

五、複合文化施設に関する議会の動き

(1) 複合文化施設建設特別委員会

令和6年9月11日、特別委員会が開催され、議員から液状化への懸念、今後の財政運営への不安、利用者を市外者に想定している点等々の質問が出ました。
最後に、議員から駅東地区建設案の是非を採決すべきとの提案があり、起立採決の結果は、**駅東地区建設案賛成7×反対13となりました。**

(2) 議会の意思は駅東地区建設反対

9月12日の定例会最終日、「複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議」を採決したところ、決議案に賛成14×反対6となり、**議会の意思は駅東地区建設反対に決しました。**

次いで10月29日の読売新聞が「市長は近く建設地の変更を決定し議会に説明する」と報じた事を受けて、複数の議員が市長に抗議しました。

(3) 最終事業方針は11月末に発表

11月13日の特別委員会では、新聞報道に至った経緯と「最終的な**事業方針**を11月末迄に決定し、速やかに議会に報告する」との市長発言がありました。

私が**事業方針**の内容を質問すると「**建設地・施設の機能・事業手法・概算事業費・財源等を示す**」との答弁でした。他議員からは、記者への軽率発言と議会軽視の姿勢が批判されました。
次に私が、最終答申を質問すると、最終答申案の座席数8百席では、市長が主張してきた団体の大会開催は難しく、担当は各種団体の大会規模さえ調査していない事実が判明しました。
建設地を**イベント広場に変更せざるを得ない**中、二週間で**イベント広場に適した事業方針**をまとめることができるのか甚だ疑問です。



六、台湾・台中市石岡区との交流

(1) これまでの経緯

台湾の台中市に石岡区という名前を持つ自治体があります。農業が盛んで梨栽培に力をいれており、名前も石岡市と共通点がある事から、本市農業関係者との付き合いが始まりました。東日本大震災の際には支援物資を送っていた

だき、平成23年11月に久保田市長と農業委員有志が返礼と友好関係要請で訪問しています。令和5年11月、谷島市長も台湾に同行して石岡市及び台中市の農業4団体が友好交流推進宣言を締結。今年2月、知事の台湾トップセールスに合わせ、市長も再び台湾を訪問しました。

(2) 台湾 台中市石岡区とは

台中市の人口は約280万人。石岡区は台中市東北部に位置し、北側は山岳地帯、中間に狭い平原が広がり、石岡区の面積は約18km²で、人口は約1万5千人。主要産業は農業。現在の区長は、平成23年訪台当時の石岡区職員で、友好的な姿勢が続いています。



(3) 姉妹都市締結は準備不足が露呈

9月9日、総務企画委員会に「台中市石岡区と姉妹都市及びサイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定書の締結を11月1日に行いたい」との報告がされました。

議員から最終的な目的が不明、姉妹都市締結を議決案件とするのかとの質問が出され、担当者は「締結後に具体的な取組み、交流を協議する。議決案件にするのかについては他市の状況を確認し報告したい」と答弁。交流計画が未策定とわかり、一気に雲行きが怪くなりました。

(4) 臨時議会は見送りに

数日後、市長から姉妹都市締結を議案とする臨時議会を、10月4日に開催したいとの要請がありました。

9月27日、急遽、総務企画委員会を開催したところ、議員の質問に対して担当者が苦しい答弁を重ねた上「石岡区は地方自治体ではない」と答弁。(事実誤認。現在まで修正されず)

委員会の空気が一気に変わり、市長が臨時議会招集を見送る事態に発展しました。

(5) 全員協議会は紛糾

10月25日に市長の要請で全員協議会を開催。市長から「姉妹都市締結は先送りとするが、11月1日に台湾

へ訪問しサイクルツーリズムと観光交流促進の協定書締結は実施したい」と説明がされました。議員からは、議会への説明が不十分として、市長の姿勢を糾弾する発言が相次ぎます。姉妹都市締結反対の立場から、採決を求める提案も出され会議は紛糾しました。休憩をはさみ、議長が採決を行うか諮ったところ、何故か起立する者は無く、採決は行わない事になりました。

(6) 後日談

何故、誰も起立しなかったのか？

休憩中に、長老議員や反対する議員から執行部へ「台湾渡航を中止すれば」という調停案が内々に出されたようで、一部議員は執行部が調停案に同意したとみなしたようです。

訪台を数日後に控えて困ったのは執行部です。ところが、10月下旬に台湾が台風で直撃される見込みとなり、石岡区から「協定書調印式延期の申入れ」が市に入り、胸を撫で下ろすことになりました。しかし、まだまだ課題山積です。



七、議会日程

(1) 第4回定例会

令和6年第4回定例会は11月26日告示、12月3日開会、12月20日閉会となります。黄色枠の会議はインターネットによる生中継及び録画放映がされますのでご利用ください。全ての会議が午前10時開会となっています。

月日	曜日	会議
12月3日	火	開会、議案上程、委員長報告
4日～8月：休会		
9日	月	一般質問
10日	火	一般質問
11日	水	一般質問
12日	木	議案質疑
13日	金	文教厚生委員会
14日～15日：休会		
16日	月	総務企画委員会
17日	火	産業建設委員会
18日	水	複合文化施設建設特別委員会
19日	木	議会運営委員会
20日	金	委員長報告、採決、閉会

編集方針

活動報告は、市政の状況をお知らせするため3ヶ月に1度、年4回発行しており、今回で38号を数えます。

私の議会での発言や行動、広報いしおかでは掲載されない市の動向が主な内容です。

限られた紙面内で、お伝えしたい内容を掲載する都合上、要約した内容となり、詳細をお伝えできないケースが多々ありますことをご容赦下さい。

ご意見・ご要望等ございましたら遠慮なく、表紙上部の連絡先にお寄せください。